



SOMPOアセットマネジメント

安心・安全・健康のテーマパーク

償還交付運用報告書

アセアン・オーナーズ・ファンド (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式
満期償還

作成対象期間：2021年6月24日～2022年6月23日

最終期 償還日：2022年6月23日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「アセアン・オーナーズ・ファンド（為替ヘッジなし）」は、2022年6月23日をもちまして満期償還いたしました。

当ファンドは、中長期的な経済成長が見込めるアセアン各国の株式において、相対的に高い業績が期待されるオーナー企業に集中投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につきお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、
閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

償還時 2022.6.23

償還価額 11,438円94銭

純資産総額 244百万円

最終期

2021.6.24～2022.6.23

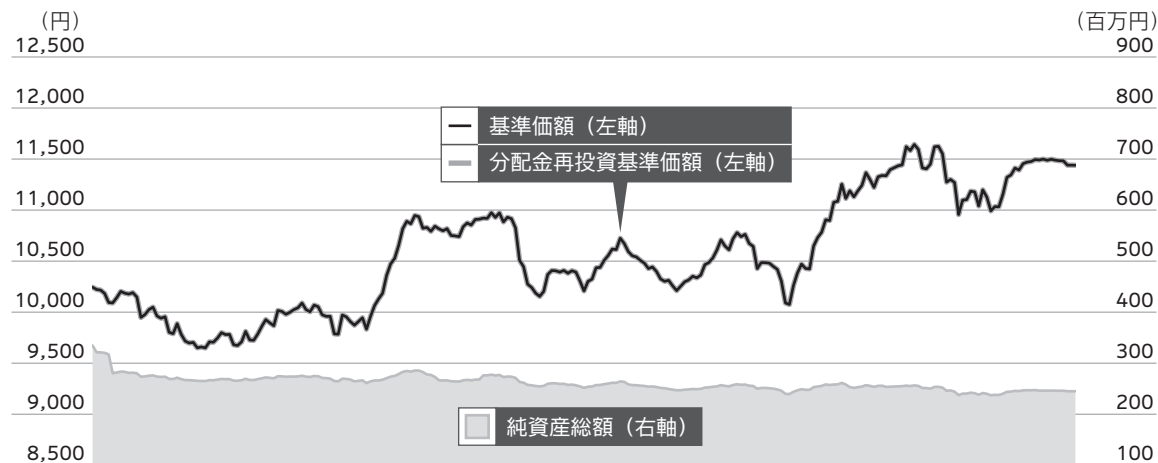
騰落率※ 11.7%

期中分配金合計 ー円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



第4期末
2021.6.23

償還日
2022.6.23

第5期首

騰落率

償還時

基準価額
10,244円

11.7%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

償還価額
11,438円94銭
(期中分配金)
(合計 - 円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、2021年6月23日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてアセアン諸国の「オーナー企業」の株式等を主要投資対象とし、「企業の成長ステージ」の特性を総合的に勘案して銘柄選別を行います。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

基準価額の推移

● 基準価額の主な変動要因

アセアン・オーナーズ・ファンド（為替ヘッジなし）

当期は、投資しているアセアン・オーナーズ・マザーファンドが上昇したため、当ファンドの基準価額も上昇しました。

アセアン・オーナーズ・マザーファンド

期中の騰落率は+13.6%となりました。保有株式は下落しましたが、アセアン各国の通貨が対円で上昇したことがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

項目	最終期 2021.6.24～2022.6.23		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	174円	1.650%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,528円です。
(投信会社)	(87)	(0.825)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(81)	(0.770)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(6)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	26	0.244	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(25)	(0.240)	
(投資信託証券)	(0)	(0.004)	
(c) 有価証券取引税	9	0.090	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(9)	(0.090)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	100	0.947	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(99)	(0.936)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.008)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.004)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	309	2.931	

注 1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

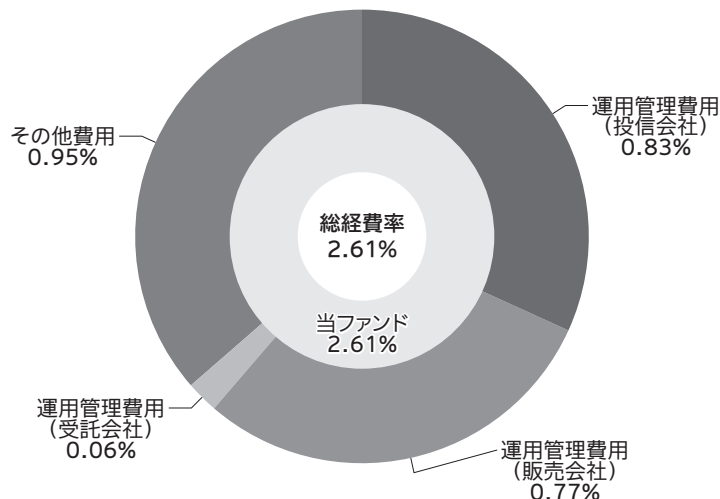
注 2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注 3. 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.61%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2017.6.23～2022.6.23



- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてアセアン諸国の「オーナー企業」の株式等を主要投資対象とし、「企業の成長ステージ」の特性を総合的に勘案して銘柄選別を行います。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

決算日		2017.7.28 設定時	2018.6.25 決算日	2019.6.24 決算日	2020.6.23 決算日	2021.6.23 決算日	2022.6.23 償還時
基準（償還）価額	（円）	10,000	9,937	10,098	8,879	10,244	11,438.94
期中分配金合計（税引前）	（円）	—	0	0	0	100	—
分配金再投資 基準価額騰落率	（％）	—	△ 0.6	1.6	△ 12.1	16.5	11.7
純資産総額	（百万円）	605	1,665	1,217	427	334	244

● 投資環境

アセアン株式市場は、下落しました。

期初から2021年10月にかけては、経済活動の再開期待を背景に世界的に株価が上昇したことを受け堅調に推移しましたが、新型コロナウイルスの新たな変異株オミクロン株の感染拡大が嫌気され、11月に下落しました。

2022年2月には、ロシアがウクライナに侵攻し、地政学リスクの高まりから下落しましたが、3月には両国による停戦協議の進展期待などを背景に上昇し、下落幅をとり戻しました。

4月以降は、米国をはじめ世界的に物価が上昇していることを受け、FRB（米連邦準備理事会）が前倒しで利上げを開始したことや、英国や欧州など各国が利上げを実施し、多くの国で緩和的な金融政策が終了したことなどを背景に下落しました。

為替市場は、投資する投資資産の全通貨が対円で上昇しました。

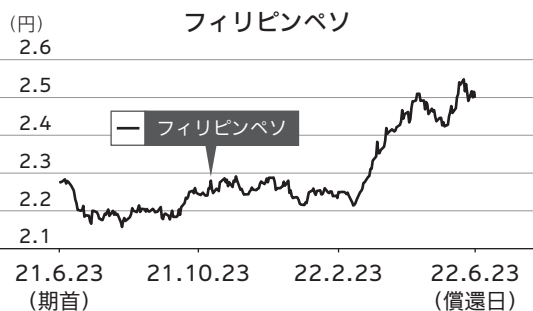
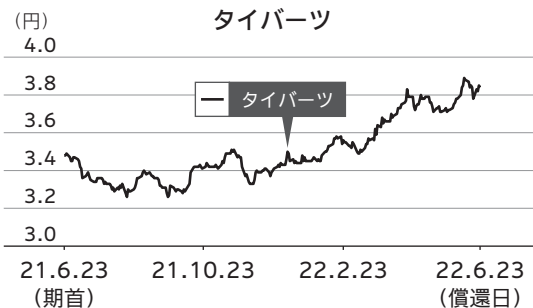
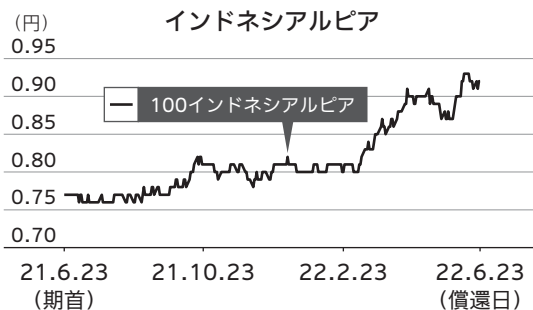
世界的に金融緩和策が終了される中、ゼロ金利政策を続ける日本の通貨の下落が進みました。

景気回復期待が好感されたシンガポールドルや、資源価格の上昇が追い風となったインドネシアルピアやマレーシアリングギットなど、投資資産の全通貨が上昇しました。

主要株価指数の推移



為替レートの推移(対円)



(出所：Bloomberg)

注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通してアセアン・オーナーズ・マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。その後、当ファンドの満期償還に向けて、マザーファンドを全部売却しました。

アセアン・オーナーズ・マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。その後、当ファンドの償還決定を受けて、2022年5月末より保有銘柄を売却しキャッシュ化を進めました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてアセアン諸国の「オーナー企業」の株式等を主要投資対象とし、「企業の成長ステージ」の特性を総合的に勘案して銘柄選別を行います。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

● 分配金

該当事項はありません。

決算期におけるファンドの運用成果[※]をもとに、分配を行うことを目指すファンドです。

※ 運用成果には、インカム収入とキャピタルゲイン・ロスの両方を考慮します。

インカム収入とは株式の配当収入等、キャピタルゲイン・ロスとは値上がり益・値下がり損をいいます。

・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。

※設定来の運用経過については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

<償還を迎えて>

当ファンドは、2022年6月23日をもちまして信託期間を終了し、満期償還とさせていただきますこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

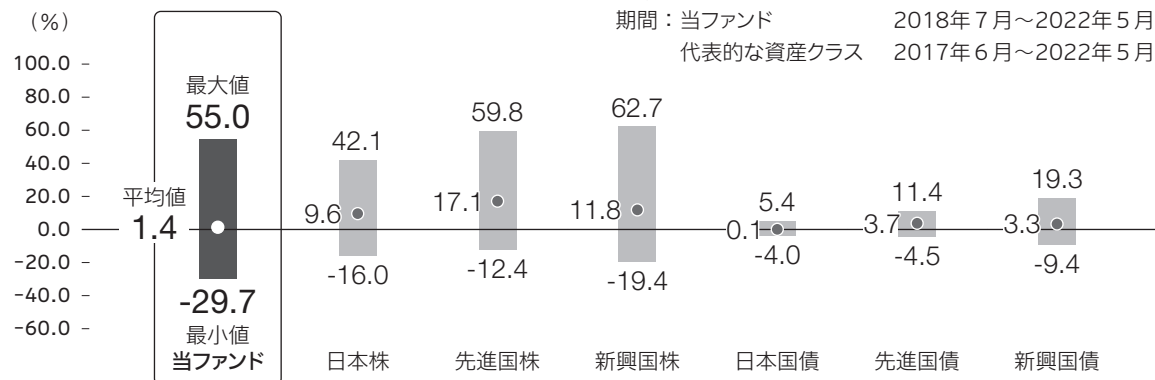
● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2017年7月28日から2022年6月23日まで
運用方針	信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	 アセアン・オーナーズ・ファンド（為替ヘッジなし） アセアン・オーナーズ・マザーファンド受益証券  アセアン・オーナーズ・マザーファンド アセアン諸国の企業の株式（DR（預託証書）等を含みます。）
運用方法	① アセアン・オーナーズ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてアセアン諸国の企業の株式（DR（預託証書）等を含みます。）に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。なお、アセアン諸国での事業構成比率の高い、アセアン諸国以外の企業も実質的な投資対象とする場合があります。 ② 相対的に高い経済成長が期待されるアセアン諸国の「オーナー企業※」にフォーカスし、創業から成長・拡大・安定等の「企業の成長ステージ」の特性を総合的に勘案して銘柄選別を行います。 ※ 「オーナー企業」とは創業者（もしくは創業者一族）が最低5%の株式を保有し、経営している企業と定義します。 ③ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は12ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

償還時における組入ファンドはありません。

※ 組み入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還運用報告書（全体版）に記載しております。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は償還時における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	償還時 2022.6.23
純資産総額	244,997,069円
受益権総口数	214,178,052口
1 万口当たり償還価額	11,438円94銭

※ 当期中における追加設定元本額は12,011,426円、同解約元本額は124,387,570円です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

アセアン・オーナーズ・ファンド（為替ヘッジなし）

検索

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0982/sales.html>



各書類の最新版をご確認いただけます。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

運全

運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。